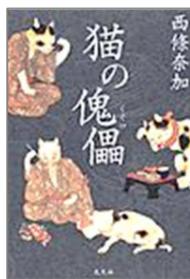


【時代ファンタジー】



鬼の芽を集める、千年もの旅
友だちになった小鬼から「過去世」を見せられ、心に鬼の芽を生じさせてしまった少女。彼女を宿業から解放するため、小鬼は永い旅に出る。

『千年鬼』
2012年出版 徳間書店



人間はお猫様の下僕だった！？
人を操り、猫の為に働かせるのが「傀儡師」。先代の後を継いだ野良猫のミスジは、売れない狂言作者を操り事件を解決していく。

『猫の傀儡』
2017年出版 光文社



妖しくも狂おしい。江戸怪異譚
幼馴染の雨月の元に居候する事になった秋成。しかし、雨月は妖を惹きつける体質で次第に不思議な物が集いだす。『雨月物語』を大胆に現代解釈。

『雨上がり月霞む夜』
2018年出版 中央公論社

【現代小説】

お薦さんの神楽坂日記 シリーズ



元芸者で粋な祖母と料理上手な孫の日常ミステリ
神楽坂界隈で起こる事件をお薦さんが痛快に解決！そんなお薦さんに振り回されつつも少しずつ成長していく孫・望のあたたかな、情緒あふれるミステリシリーズ。

『無花果の実のなるころに』(左) 『いつもが消えた日』(中央)
『みやこさわぎ』(右) 2011年・2013年・2016年出版 東京創元社



日本の子育てを政治から変える！
待機児童、保活、貧困…。課題山積みの子育て後進国ニッポンに新人代議士の小町は、男社会の永田町に風穴を開けられるのか。

『永田町小町バトル』
2019年出版 実業之日本社

【現代ファンタジー・SF】



それが被害者の殺された際の苦痛。被害者の記憶を追体験させる機械「0号」。死刑に変わる刑として期待されたが開発は凍結。しかしそのシステムの研究は密かに続いていた…。

『刑罰0号』
2016年出版 徳間書店



凸凹コンビが足だけ幽霊の謎に挑む
先留交番に足だけの幽霊がやってきた。足子さんと名付けられた彼女の謎を警官コンビが解き明かす。電気街の路地裏に隠された5つの人情ミステリー。

『秋葉原先留交番 ゆうれい付き』
2020年出版 集英社



死者の祈りと己の願い。
気がつくとも三途の川にいた叶人。なぜ自分が三途の川にいるのかを知るため、江戸時代の2人の男達と死者の未練をかなえる任務に挑む。

『三途の川で落としもの』
2013年出版 幻冬舎

池田町出身 第164回直木賞受賞作家

西條奈加 著作リスト

2021年1月20日発表の第164回直木賞を受賞した『心淋し川』の著者
西條奈加さんの本のリストと作品紹介です。

西條奈加 (さいじょう なか)

1964年池田町生まれ。東京英語専門学校卒。

2005年に『金春屋ゴメス』で第17回日本ファンタジー大賞を受賞してデビュー。

2012年に『涅槃の雪』が第18回中山義秀文学賞、2015年に『まるまるの毬』が第36回吉川栄治文学新人賞を受賞した。

2021年には『心淋し川』が第164回直木三十五賞を受賞し、十勝出身の作家で初めての受賞となった。

作品年表 (ハードカバー版のみ。改題した文庫版やアンソロジーは含まない。)



デビュー作
『金春屋ゴメス』



直木賞受賞作
『心淋し川』

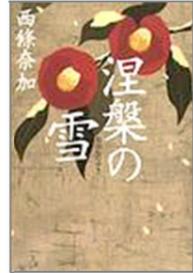
2005年	『金春屋ゴメス』	2015年	『睦月童』
2006年	『芥子の花』		『ごんたくれ』
2007年	『烏金』		『秋葉原先留交番ゆうれい付き』
2009年	『恋細工』		『大川契り』
	『はむ・はたる』	2016年	『九十九藤』
2010年	『善人長屋』		『刑罰0号』
	『御師弥五郎』		『みやこさわぎ』
2011年	『無花果の実のなるころに』	2017年	『猫の傀儡』
	『四色の藍』		『銀杏手ならい』
	『涅槃の雪』	2018年	『無暁の鈴』
2012年	『朱龍哭く』		『雨上がり月霞む夜』
	『千年鬼』	2019年	『永田町小町バトル』
2013年	『閻魔の世直し』		『隠居すごろく』
	『三途の川で落としもの』		『亥子ころころ』
	『いつもが消えた日』		『せき越えぬ』
2014年	『上野池之端鱗や繁盛記』	2020年	『わかれ縁』
	『まるまるの毬』		『心淋し川』
	『六花落々』		

【時代小説】



『心淋し川』
2020年出版 集英社

「生き直すには、悪くない土地でさ」
小さな溝川沿いの長屋。住民たちは「人生」という川のどん詰まりでもがきながらも、懸命に日々を生きようとしていた…。人々の人間模様を綴った全6話の連作短編。



『涅槃の雪』
2011年出版 光文社

活気を奪う改革。己が正義を貫けるか
町与力の門佑は北町奉行・遠山の片腕として働いていた。しかし天保の改革がなされた事で、反対派の遠山と水野の関ぎ合いが激しさを増す。



『烏金』
2007年出版 光文社

相棒の烏と共に貧乏人を救う！
金貸し婆・お吟のもとに謎の男、浅吉が押しかけてきた。様々な手腕で借金を片づけ、貧乏人を助ける彼にはどうやら秘密があるようで…。

南星屋 シリーズ



『まるまるの毬』(左) 『亥子ころころ』(右)
2014年出版・2019年出版 講談社



売り切れ御免の人気和菓子屋。親子三代で作る美味しい和菓子が謎も心もほどいていく。
元武家の治兵衛が主の菓子舗「南星屋」。親子三代で営まれるこの名店には他人には言えない秘密があった…。思わず頬が落ちる、美味しい和菓子と人情の物語。



『ごんたくれ』
2015年出版 光文社

天才絵師の矜持と生き様！
安永4年の京都で切磋琢磨する絵師2人。鼻つまみ者の「ごんたくれ」と呼ばれた彼らは求めた道の先に何をみるのか…。



『六花落々』
2014年出版 祥伝社

何故、雪は六花の形を成すのでしょうか。
学問への情熱を買われて、物書見習いから藩主の若君の御学問相手に大抜擢された尚七。嬉々として勉学に励むが、そこにはある思惑が隠されていた…。



『せき越えぬ』
2019年出版 新潮社

箱根の関。越すか、越さぬか。
関守の前には今日も切実な事情を抱える旅人がやってくる。黄昏を迎えた江戸の世で岐路に立つ、藩士の眼に映るものとは。



『朱龍哭く』
2012年出版 講談社

美人姉妹危うし！影の正体を暴け
友人の悪い男や幽霊騒ぎなどを解決する美人姉妹。かしましくも賑やかな日々の裏で、小町娘のお蝶を狙う影が迫っていた…。



『はむ・はたる』
2009年出版 光文社

『烏金』から2年。青春時代小説！
江戸の下町で生きる孤児たち。彼らは周囲で起きる小さな事件を解決するため奔走する！『烏金』の仲間も登場します。



『御師弥五郎』
2010年出版 祥伝社

いざゆかん！お伊勢参り
弥五郎はお伊勢参りの案内役・御師として材木商の清兵衛と伊勢参りに行くが、いく先々で清兵衛は狙われて…。笑いど涙の道中記。



『無暁の鈴』
2018年出版 光文社

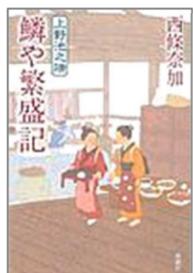
裏切りの果てに、若き僧侶は何を見る。
武家の庶子ながら、寒村の寺に預けられた久齋。手酷い裏切りから飛び出した彼は名前を変え、江戸へと向かう。一人の僧の成長と波乱万丈な人生譚。

善人長屋 シリーズ



『善人長屋』(左) 『閻魔の世直し』(中央) 『大川契り』(右) 2010・2013・2015年出版 新潮社

超お人好し・加助が住み始めた長屋は悪党揃いだった！？
「善人長屋」の住人は全員、裏の顔を持つ。しかし、新たな住人・加助が次々と面倒事を持ち込んで…。裏の手練れと人情が堅気を泣かす悪を討つ！



『上野池之端鱗や繫盛記』
2014年出版 新潮社

この店、美味あり謎あり涙あり。
三流料理屋に勤める事になったお末。熱意に動かされた若旦那とかつての誇りを取り戻すべく奮闘するが、若旦那にはもうひとつの顔があった。



『恋細工』
2009年出版 新潮社

銀細工に情熱を燃やした二人の思い
銚子の娘・お凛と、跡目争いの中突如現れた職人・時蔵。次第に時蔵に惹かれるお凛だが、天保の改革が発令される中、店に驚天動地の依頼が。



『九十九藤』
2016年出版 集英社

商いは「人」で決まる。
人材派遣業「口入屋」の女主人・お藤。彼女は傾いた店を立て直すべく、ある大勝負に打って出る…。仕事の喜びとは何かを問い直す時代長編。



『わかれ縁』
2020年出版 文藝春秋

離縁の調停、いたします。
定職にもつかず、浮気と借金を繰り返す夫に絶望し家を飛び出した絵乃。離婚の調停を得意とする公事宿で働く事になった彼女は念願の離縁を果たせるか。



『隠居すごろく』
2019年出版 KADOKAWA

隠居したら「上がり」と思いきや…？
人生を双六にたとえれば、隠居は上がり、の筈だったが孫が来た事で次から次に「厄介事」が。しかし、てんてこ舞いながらもその日々は充実して…。



『四色の藍』
2011年出版 PHP 研究

4者の思いが絡む、仇討ちの行方は…
紺屋の女将・環は亭主が殺された真相を知るため、東雲屋を探る。東雲屋に恨みを持つ女達と組んで仇討ちに挑む環だが、事件は思わぬ展開を見せていく。



『銀杏手ならい』
2017年出版 祥伝社

若き女師匠の手習指南所奮闘記
実家の手習い所「銀杏堂」を継ぐ事になった萌。悪童に振り回されながらも、次第に信頼を得ていくが、ある朝門前に捨て子が…。

【時代ファンタジー】

金春屋ゴメス シリーズ



『金春屋ゴメス』(左) 『芥子の花』(右)
2005年・2006年出版 新潮社

日本から独立を宣言している「江戸国」。そこは江戸時代の生活をそのままに生きている鎖国状態の国だった。

月に移住できるほど近未来でありながら、江戸を忠実に再現し日本の属領になっている「江戸国」に入学することになった大学生の辰次郎。彼を雇ったのは「金春屋ゴメス」こと長崎奉行馬込播磨守だった。



『睦月童』
2015年出版 PHP 研究所

人の「罪」が見える少女
犯した罪を見せる目を持つ少女・イオ。その力で江戸で起こる事件を解決するが、彼女の出生には秘密が…。